



令和5年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

北海道ブロックラウンド 競技・審判運営上の確認

1 競技規則について

本大会は2023年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則及び競技要項により実施する。

ネットの高さは男子2m43cm、女子は2m24cmとする。競技は全て3セットマッチのトーナメント戦でおこなう。今大会は、中体連・高体連特別ルールは適用しない。今大会使用球は男子モルテン製・女子ミカサ製を使用する。

2 チーム構成について

- 1) チームは、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各1名、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。そして、試合ごとに14名以内（2名以内のリベロを含む）の選手をエントリーすることができる。

なお、監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ1、公認バレーボールコーチ2、公認バレーボールコーチ3、公認バレーボールコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。

- 2) 部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナーのチームスタッフに変更がある場合は、代表者会議終了時まで今大会を通してチームスタッフ変更届を提出することによって、変更することができる。
- 3) 選手は18名エントリーとし、申し込みのあとからの変更を認めない。コンポジションメンバーは試合ごとに14名以内を選抜し、各チームは前試合の1セット終了後（第1試合は開始30分前）までに本部競技担当者まで提出し確認を受ける。（ユニフォームを確認する場合がある）

試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。

- 4) 外国人選手の登録は2名までとし、試合ごとのコンポジションに記載できる外国人選手は2名とする。したがってベンチ入り2名、オンザコートも2名とする。ただし、Vリーグ所属チームについてはVリーグ規定を適用し、その内訳は外国人選手1名+アジア枠選手の計2名とする。

- 5) リベロのエントリーについて

- ① 正規選手が12名以下の場合、リベロの数は0名～2名。
- ② 正規選手が13名または14名の場合、リベロは1名～2名。（天皇杯皇后杯ルール）

- 6) チームキャプテンと監督の両者は、チームメンバーの行為や規律に対して責任を負う。リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

3 ベンチへの着席について

ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・通訳各1名、選手14名以内の計20名以内の着席を認める。（ドクターについては、実行委員会が指定した席に着席する）着席の際、チーム役員は直径6cm程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけること。また、公式練習の際、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーがボールキーパーとして参加すること

を認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4 試合開始時刻について

- 1) 第1試合開始予定時刻は、9日が9時30分、10日が10時とする。
- 2) 練習コートを設定していないので、ウォーミングアップはネット・ボールの使用を認め、公式練習を含めた31分間とする。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- 3) 同一チームが連続試合となる場合は、30分後にプロトコールを開始する。
- 4) プロトコール終了後、15分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。
- 5) 各試合の当該チーム合同練習は時間設定をする。

5 コートワイピングについて

- 1) コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。ただし、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーを最大2名クイックモップパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とし、位置は監督席と記録席の間、2名の場合はベンチの両端に各1名配置すること。なお、クイックモップパーはモッピングだけを目的とし、応援は慎むこと。
- 2) タイムアウト中、およびセット間については、ベンチにいる交代選手またはクイックモップパーがモップを使っても構わない。

6 リベロについて

- 1) リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- 2) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないうが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレースメントは、罰則の段階に関係なく認められる。
- 3) ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレースメントはできない。
- 4) リベロが1人しかいなくなった場合や、1人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7 ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

8 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

- 1) Vリーグ所属チームについてはVリーグ規定を適用し、その他のチームについてはJVA規定を適用する。
- 2) JVAが公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングすること。
- 3) パワーパンツ、アンダーシャツ等を着用する場合は、ユニフォームからはみ出してはいけない。ジャー

ジ、パンツ、ソックスの色とデザインは（リベロを除き）チームで統一されなければならない。

4) 医療を目的としたサポーター、コルセット類はプレー上危険、プレーに有利に働く場合を除いて規制はしない。しかし、明らかに色が違う医療用サポーターとコルセット類（腰用等）はユニフォームの下に着用すること。

9 チーム役員について

- 1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。
- 2) 監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーが統一されたトレーニングウェアを着てもよい。
- 3) 選手と違うトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。ただし、中学校・高校チームの場合は、監督・コーチは統一された服装で、マネージャーはチームで統一された服装でベンチに着席のこと。

10 その他

- 1) ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コートのもも端（後方）に置くこと。
- 2) 会場の開館時間について、9日は8時00分、10日は8時30分とする。なお、この大会は、第1試合だけ時間設定するが、第2試合以降は追い込みなので十分注意すること。
- 3) 今大会のコートオフィシャル6名（ラインジャッジ、点示）について、9日、女子Aコート第1試合は北海道アルテミス、Bコート第1試合は旭川実業高等学校・旭川市立大学が行う。また、9日、男子一回戦は大会役員で行う。10日、Aコート第1試合はEZOLUDY・東海大学附属札幌高等学校、Bコート第1試合は東海大学札幌校舎・SILVERが行う。男女とも第2試合以降は、前試合の敗者が行うが、決勝戦のみ大会役員で行う。
- 4) コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。
- 5) 今大会は、代表者会議終了後、代表者にて開会式を行う。
また、北海道ラウンド優勝チームは、記念撮影があるのでビクトリーTシャツを着用すること。
- 6) 北海道ブロックラウンド優勝チームにはファイナルラウンドへの通過証を授与する。